

## SIU 日本支部総会 議事録

日時: 2018年4月21日(金) 8:00-9:00

会場: 第106回日本泌尿器科学会総会 第7会場 国立京都国際会館 1F Room C-1

司会: 日本支部長 穎川晋、副支部長 野々村祝夫

### 支部総会の成立要件

今回の総会開催に先立ち、日本支部では SIU 本部から提供された日本人会員リスト(2017)全員に連絡をとり、会員の近況を確認した。回答をいただけない会員に対しては、様々な方法でコンタクトを試み、その後の新規入会・退会を合わせた結果 264 名をコンタクトの有効な、議決権を持つ active な会員とした。

今回、その 264 名のうち、121 名は委任状提出、当日参加 20 名で過半数をクリアし、本会の審議については支部会で承認されたものとする。

### SIU 日本支部総会規則案・日本支部会の役割について

日本支部会の規則案について、会議の成立要件、議決権等を含め穎川支部長から説明がなされた。

支部会は、現在は日本泌尿器科学会の国際委員会下部組織としての位置づけであるため、これまであいまいだった部分を支部会承認のもと明確にし、国際委員会、理事会にて諮る予定としていたが、支部会としての議決権の意味、そして役割について抜本的な見直しが必要との意見があり、これまでの経緯確認・検討がなされた。

現状の問題点

- ・支部会の位置づけは変化してきているが、役員要件、委員長との役割、組織の機能等これまであいまいな部分が多くあった。
- ・支部役員の任期と日本泌尿器科学会役員の任期が異なるため、上部組織である国際委員会との連携が難しい。
- ・何か議題がある際に、諮る機会が一年に一度の日泌総会中だけしかないのは非常に不便、非効率的。
- ・日泌の下部組織であるとはいえ、財務が別にあり、日泌の理事会には報告がない。
- ・SIU 本部との窓口が一本化されていないため、日泌内での対応が難しいときがある。

また、これまで SIU Governance、支部会の役員を担当された方々から、過去の状況説明があった。SIU 理事に初めて日本人の先生が就任されたときに日本支部会が発足し、当時は集金も支部会が担っていた。その後、支部の事務局は東大から日泌へ移行された。過去、AUA との関係でも同じような役割を持つ組織が存在していたが、現在は日泌の国際委員会が直接連携をとっていることから、SIU との関係も同様の変更が必要との認識で一致した。

結果、現在の穎川支部長の任期終了と同時に、日本支部会は解散し、その機能はすべて日本泌尿器科学会 国際委員会に移行することで承認された。具体的には、2019年1月1日からとする。

今後の活動は国際委員会から理事会に提案、報告し、承認を得ることとする。また、現在 SIU 支部の口座に残っている金額については日泌の経理に組み入れ、SIU 活動用の経費として計上、管理していく。方法は日泌で検討する。

この変更は後日、日泌の理事会にて正式に諮ることとなった。

### **SIU Group membership**

SIUからの依頼でいろいろと交渉した結果、200人新規に日本人会員を増やすことで昨年SIUと合意している。条件としては、SIUはその200人の初年度の年会費 通常200ドルを150ドルにディスカウントする。提案として、その半額(75ドル)を支部会の資金で補助するという特典を提示し、全国約80施設の大学から2名ずつ推薦を募る。次年度以降その会員が継続するかどうかは保証しない(SIU了承)。

この提案は承認され、今後は日泌 国際委員会の方で具体的な手順、集金方法等につき検討、実施していくこととなった。

### **SIU Board of Directors**

Corporate Development に就任された江藤先生から報告がなされた。

現在、企業からの寄附金を主としたお金の集め方についてSIUと検討中。

内藤先生から、現在のBODが決まった経緯について説明がなされた。

SIUでは、Presidentのあと、Nominating Committeeの委員長となるが、内藤先生がこの委員長だった当時、日本人のBODがすべて交代となってしまうため、先生の方で江藤先生をCorporate Development、大家先生をPublicationsへとノミネートした。これまでこの人事については日泌の理事会承諾のプロセスを経ることなく決めていたが、今後は日泌が主体となる。

現在、颯川先生がこのNominating Committeeにはいっているため、なにかあれば窓口となることは可能。

### **Council member について**

昨年発足した、新しい2つのCouncilにつき報告がなされた。

uCare Researchは富田先生、Educationは江藤先生が担当。

両役職とも、全国泌尿器科学会教授に募ったが応募がなかった。

uCare Researchの方は富田先生はPortalとして機能し、実務(施設選考等)は学術委員会に託している。

江藤先生のEducationは各国からの代表は全体的に若手のため、実務担当として若手の先生の推薦を検討している。

### **SIU2017 Lisbon の報告**

写真とともに、リスボンでの学会報告がなされた。参加者総数は1900名であったため、少しさみしい感じがえた。